

コロナ後遺症について

☆コロナ後遺症とは

新型コロナウイルス（SARS-CoV2）に感染した後、発熱などの風邪症状が治癒したにも関わらず、様々な症状が持続して認められ、原因が明らかでないものをまとめて罹患後症状といい、コロナ後遺症と呼ばれています。

一般的なコロナ後遺症の定義として、新型コロナウイルス感染後、少なくとも2ヶ月以上（海外では3ヶ月以上という意見もあります）症状が持続し、他の疾患として説明がつかないものとされています。⁽¹⁾初めに出現した症状が持続する場合と初めの症状が回復した後に出現してくる症状があります。

☆どのような機序で生じているのか

病態についてはまだ解明されていないことも多いですが、現段階ではウイルスが感染した部位への直接的な障害、微量なウイルスによる持続感染、ウイルス感染後に免疫調節が乱れて炎症が残存したり、ウイルス感染による血液凝固能亢進と血栓症による血管障害などの複数の機序が考えられています。⁽¹⁾

☆コロナ後遺症の症状は？

多彩な症状が報告されていますが、以下の5つのタイプに分類⁽²⁾すると理解が容易になるかと思います。

タイプ1：強い倦怠感（全体の約2割）

タイプ2：呼吸困難、胸痛、動悸などの胸部症状（全体の約15%）

タイプ3：物忘れ、頭痛、不安、抑うつ、不眠症、モチベーション低下などの
精神神経症状（全体の約2割）

タイプ4：脱毛（全体の約2割）

タイプ5：味覚、嗅覚障害（全体の約2割）

これらの他、稀ではありますが、ある種の免疫異常の疾患の発症増加も報告されています。⁽³⁾

☆どのくらいの割合で後遺症が残るのか？

それぞれの報告にもよりますが、医療関連調査会社のメディリードの同社が保有する疾患に関するデータベースを用いたコラムによると約半数弱の方になんらかの症状が残り、別の報告では発症後1年経過しても約10%の方に何らかの症状が残存しています。⁽⁴⁾稀ではありますが、強い倦怠感などの後遺症により学校に通えない、仕事に復帰できない事例も散見されています。

☆後遺症の治療と対策について

残念ながら後遺症に対する根本的な治療はありません。

一部の方で、後遺症のように見えて実は他の疾患であり、治療が可能ということがありますので、症状に悩んでいる方は医療機関への受診をご検討ください。現在、漢方薬を含めた対症療法や、リハビリテーションが行われ、一部の患者さんに効果が認められていることもあるようです。

後遺症への対策については、新型コロナウイルスに感染しないことが一番です。複数回感染すると後遺症発症のリスクが上がってしまうことも報告されており⁽⁵⁾、仮に一度感染しても油断しないことが重要です。3密に該当する環境をなるべく避ける（近くに人がいる場合のマスク着用、人が集まる場合は換気をよくすることを含めます）こと、高頻度接触部位（ドアノブやキーボード、マイク、吊り革など不特定多数の人が触るところです）を触った後は手指消毒を行うことが重要です。

またワクチン接種によって、後遺症のリスクを下げる可能性があることも報告されています。⁽⁶⁾ 以前接種された時に副反応が問題なければ、しばらくは3-6ヶ月に一度、定期的にワクチン接種をした方が良いと考えられます。（約半年でワクチンの効果が低下してしまうため）高齢者や基礎疾患をお持ちの方であれば、重症化予防目的でワクチンを接種する必要性が高いですが、6ヶ月以上の小児や65歳以下の基礎疾患がない成人の方でも、後遺症のリスクを下げる目的でワクチン接種の意義があると考えます。

参考文献

- (1) 厚生労働省. 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き別冊罹患後症状のマネジメント第2.0版．2022 10.
- (2) Tsuchida T, et al. Five cluster classifications of long COVID and their background factors: A cross-sectional study in Japan. Clin Exp Med (2023). <https://doi.org/10.1007/s10238-023-01057-6>
- (3) Kuan P, et al. Risk of autoimmune diseases following COVID-19 and the potential protective effect from vaccination: a populationbased cohort study. eClinicalMedicine 2023;63:102154.
- (4) Olivier R, et al. Long-lasting Symptoms After an Acute COVID-19 Infection and Factors Associated With Their Resolution. JAMA Netw Open. 2022;5(11):e2240985. doi:10.1001/jamanetworkopen.2022.40985
- (5) Benjamin B, et al. Acute and postacute sequelae associated with SARS-CoV-2 reinfection. Nat Med 28, 2398–2405 (2022). <https://doi.org/10.1038/s41591-022-02051-3>
- (6) M. D Brannock, et al. Long COVID risk and pre-COVID vaccination in an EHR-based cohort study from the RECOVER program. Nat Commun 14, 2914 (2023). <https://doi.org/10.1038/s41467-023-38388-7>